

お風呂から出た後
僕は千雪お姉さんに
裸のまま連れられて
僕の部屋のお布団に
寝かされました。

ふふ♥
ドキドキした？

お家の中でも
何も着ないで歩くと
いけない事してる
みたいでドキドキ
しちゃうね♥

はあ♥
はあ♥

はあ♥

ドキ♥

ドキ♥

う、うん

本当は裸のお姉さんと
一緒にいるだけで
十分ときどきしてたけど

お姉さんの気持ちに
もっと近づきたくて
僕は頭を縦に振った

あにゅ♥

はっ♥
はっ♥
はっ♥

はっ♥

はっ♥

そ、それで…
千雪お姉さん…?
僕の部屋で今から
何をするの…?

裸で一緒に…
寝る…とか?

ふふ♥それもとっても
気持ちよさそう

でもね…これから
私と○○くんの二人で
するのはもっと気持ち
良いことなの♥

にこっ♥

それって…

思わず僕の
おちんちんが
びくんと跳ねた

そう♥

さっきお姉さんが
お口でしてあげた
事よりもっと
気持ちいい事…♥

びくっ♥

お姉さんが微笑んだ後
少し体をよじると
おちんちんの先に
不思議で心地良い
感触が伝わってきた

見えるかな？

今○○くんのおちんちんが
お姉さんのお股に
あたってるの…♡

にゆるにゆるして
ぷにぷにしてるでしょ？

は♡♡

お♡♡

これはね…♡
“おまんこ”っていう♡

○○くんのおちんちんを
気持ちよくしてあげる
ための穴なの♡

○○のおちんちんを
気持ちよくする…

お姉さんのお股に
そんな穴があるの…？

く♡♡
に♡♡
び♡♡

ドキ♡

そのおまんこが♡
こんなふう濡れて
にゆる♡にゆる♡
してるのは…♡

〇〇くんのおちんちんを
中に入れたくて…♡
我慢出来なくなっちゃっ
てるからなの♡

でもお口よりも♡
もぐっと気持ちいい♡
穴だから…♡

気持ち良すぎちゃう♡
かもしれないけど♡
〇〇くんは大丈夫？

おちんちんの先から
伝わる感触と

千雪お姉さんに
もっと気持ちよく
してもらえるっていう
事だけしか頭になくて
僕は力いっぱい頷いた

は、は、
ぬちゃ♡
どき♡
は、は、
は、は、

〇〇くん…♡
そうよね、〇〇くんも
気持ちよくなりたい
もんね♡

困らせるような
事を聞いちゃって
ごめんなさい♡

それじゃあ〇〇くんは
そのままリラックスして
ていいよ…♡

もし途中で気持ち良すぎて
怖くなったら言ってね♡

♡♡♡
♡♡♡

…んっ

ずつと夢をみてるみたいに
頭の中がフワフワしてたのに
おちんちんの先っぽだけお風呂に
入ってるみたいに熱くなつて

えっ
○○
くん…?
♡

千雪お姉さんの中におちんちんが入っていつてるからって分かるとう頭がチカチカ体がビリビリぶるぶるとふるえて僕はその瞬間――

『もうすぐ出そう』なんて
そんな前ぶりも何もなく
あまりにも突然で：

そっか…
気持ち良すぎて
おちんちんがびっくり
しちゃったのね♡

僕も千雪お姉さんも
直後になって出ちゃった
事に気づいた。

千雪お姉さん…
ごごめんなさい…

：僕：こんなに
すぐに：勝手に：
出しちゃつて：

○○くんが
謝る事じゃ
ないんだよ♡

初めてなら
こうなっちゃう
事もあるみたい
だから…
♡♡

く
く
く

でも！
うう

でも……っ

せつかく千雪お姉さんが
僕のこと気持ちよくして
くれようとしてたのに

これだけで終わりに
なっちゃうなんて……



ち、千雪
お姉さん……っ
はっ、ドキ、ドキ、はっ、ドキ、ドキ

〇〇くんがまだ
がんばれるなら
何度でもお姉さんが
してあげるから♡

せっかく〇〇くんの
初めての経験を
一緒にいい思い出に
しましょう♡



ふふ♡
おちんちんもまた
元気になったみたい♡

またおちんちんびっくり
しちやわないように♡

なるべくゆっくりにして
いくからがんばろうね♡

うん!

んん♡



わ、〇〇くん
すごくつらそう…

また出ちゃう…？
一度この辺でストップ
しよっか？

う、ううん
大丈夫…！

千雪お姉さんに
元気もらったから…
まだ…頑張れる…！

はぁ
♡

はぁ♡

はっ

はっ

はっ

はっ



〇〇くん
男の子なんだ…

かっこいいな

千雪お姉さん…っ

褒められてドキッとして
気持ちいいのに流され
ちやいそうだったけど
ぐっところえました

にゅっ

ぬっ

はっはっ
ドギッ



〇〇くん♡
ほら、見て♡

おちんちん全部
お姉さんのおまんこに
入ってる♡

は♡
は♡
は♡

ニギッ

は♡

ニギッ

は♡
お姉さんの…
おまんこ…
すごい…っ

は♡
おちんちん全部が
気持ちいいので…
包まれてる…っ

は♡

〇〇くんの
おちんちんも
すごい♡

出るの我慢して
中でカチカチに
固くなってるの
わかるちゃう♡

ニん♡

♡ / ニゅ

ずび

ドキッドキッ

は。は。



はっ
えっ千雪お姉さん…?!
はっ
もう抜いちゃうの…?
はっ
はっ

んっ
はっ
あ…
はっ

はっ

あっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ





ぎもちよすぎてる♡
もう♡でちゃう♡
♡♡♡♡♡

がんばって我慢
してたもんね♡
気持ち良く
おまんこの中に
ぴゅっぴゅって
しちゃおう

♡♡♡♡♡

はぁ♡

はぁ♡

ちやまお姉さん♡
でる♡でる♡でる♡

はい♡はい♡
♡♡♡♡♡



あっ♡♡♡

はぁ♡

はぁ♡

ん♡ん♡ん♡

ん♡ん♡

きゅん♡

ぴゅ♡

どく♡

どく♡

どく♡

どく♡

わぁ…○○くんの
精液…射精てる…♡

どくどくって
おまんこの奥に♡
熱いの射精てるの
感じちゃう♡





え？

はっ
ちゅき、おねえ
さん……
もっ……
はっ

はっ

はっ

はっ
もっと今の……
ずぼずぼ……
おちんちんずぼずぼ
したい……
はっ



そうだ♪
○○くんが上手に
お姉さんをお願い
出来たら♡

お姉さんも“本気”で
○○くんを気持ちよく
してあげる…っていう
のはどうかな？

はー！

いっちょ

はー！

ドキッ
本気で…？

うん…お願いって…
何て言えばいいの？

ドキッ…ドキッ…



サトウ

○○くんがもっと
気持ちいいえっちが
したいなら――

「お姉さんといっぱい
えっちささせてください」
っておねがいできるかな？

うん…
わかった…！

はっ♡ トキ
千雪お姉さんの…
おまんこといっぱい
えっちしたい…

はっ♡ ドキ
えっちして
ください…!!

…うん♡
ちゃんと
お願い出来て
偉いね○○くん♡





ちゅきおねえさん♡
またっでるう♡
でちゅう♡
おちんちん♡
でちゅう♡
はっ♡

〇〇くんのおちんちん
すごいっ♡
こんなに何回も
出して♡

出してえっ♡

お外も暗くなってきたのに...♡
まだがちがちで
出すのも勢いが
かわらないなんて♡

おっおっ♡
おっおっ♡
おっおっ♡
おっおっ♡

ぽちゅん♡ ぽちゅん♡
ぽちゅん♡ ぽちゅん♡

ぽちゅん♡

ぽちゅん♡

ぽちゅん♡ ぽちゅん♡
ぽちゅん♡ ぽちゅん♡
ぽちゅん♡ ぽちゅん♡

あーっ♡うひゅっ♡
あーっ♡うひゅっ♡
あーっ♡うひゅっ♡

おちんちんの
大きさは年相応
だけど…♡

とっても固くて
いいところに
ひっかかって♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

私の本気ピストンにも
応えてくる…っ♡♡

こんなおちんちんの
えっち知っちゃったら…♡♡

ぽちゅっ♡

ぽちゅっ♡

どっ♡

みゅるるっ♡
みゅるるっ♡

ぽちゅっ♡

はぁはぁ
〇〇くんっ
お姉さんとの
えっち好き…？

うんっ好き…っ
千雪お姉さんもっ
えっちも…っ

はっ
千雪お姉さんと
えっちするの
好き…っ

私も〇〇くんと
えっちするの好き
になっちゃった

ドキッ

はっ

ドキッ

はっ

はっ

ドキッ

ドキッ

はっ

でもね…
もうそろそろ
〇〇くんのお母さんも
帰ってくるから…

はぁ…
え…そっか…
うん…お終
いだよね…

もも

でもね…
もし今日の事—
お姉さんとした事を
誰にも言わないって
約束してくれたら…

これからもまた
こうしてお姉さんが
○○くんの事えっちで
気持ちよくしてあげる…

約束…
できるかな…?



ドキ
うん…！
約束する…！

絶対誰にも
言わない…！

ハァ
はーっ

ぎゅんっ

はー

ぎゅんっ

〇〇くん…♡

本当に素直で
いい子…♡



これからは
○○くんの
おちんちんは
お姉さん専用で♡

お姉さんの
おまんこは
○○くんの
専用ね♡♡

はっ♡

いっ♡

…うん!

大好きだよ
私の○○くん♡

